

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

### 佐賀市立北山東部小学校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

#### ■ 調査期日

令和3年5月27日（木）

#### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童(中学校3年生生徒)

#### ■ 調査の内容

##### (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
  - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

##### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

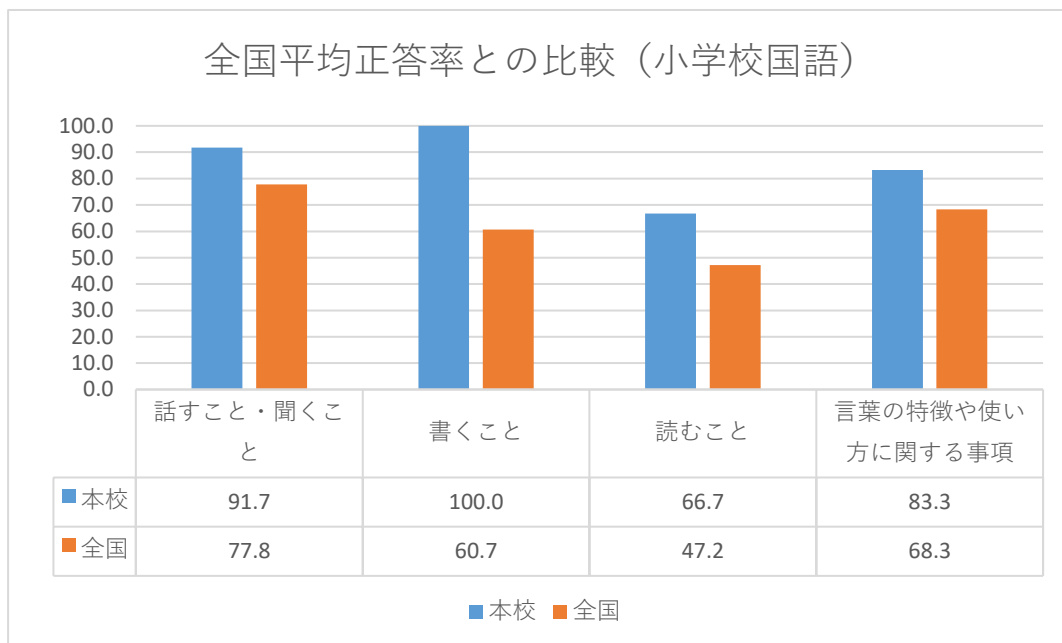
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

#### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご欄ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

全領域で全国平均を上回る結果でした。無回答率も0%で学習意欲の高さが見られました。「書くこと」の正答率は、100%でした。「話すこと・聞くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率も高い結果でした。「読むこと」では、課題が見られました。

#### (2) 成果と課題

「目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える問題」と「目的や意図に応じ、資料を使って話す問題」で正答率は、100%でした。継続的に全校スピーチに取り組んでいることの成果が表れていると考えられます。「読むこと」では、「目的に応じ、文章と図表を結び付けて必要な情報を見つける問題」と「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する問題」で正答率は、50%で課題が見られました。

#### (3) 学力向上のための取り組み

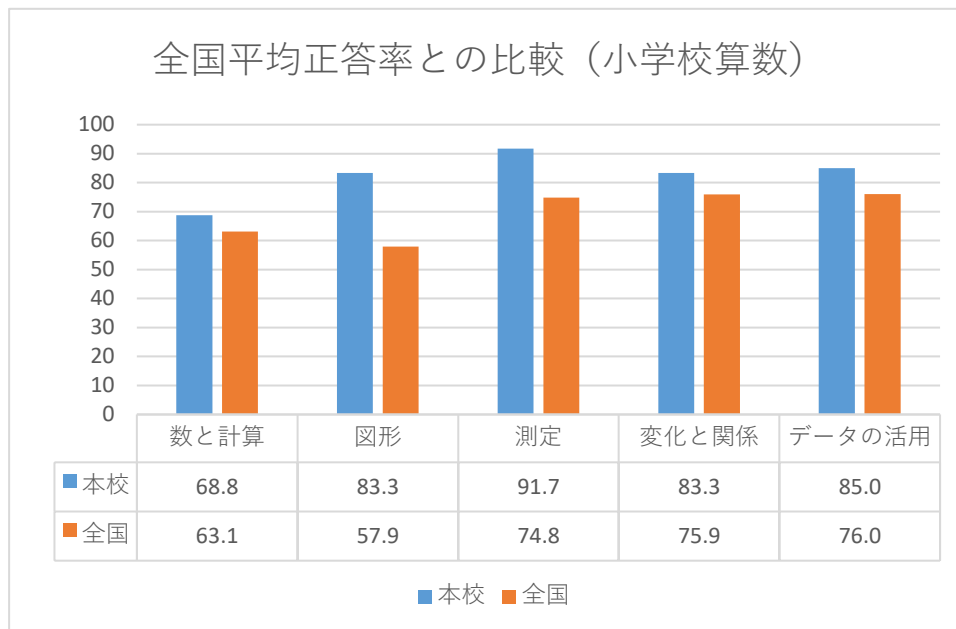
##### 【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、学習課題を工夫したり学習の振り返りを充実させたりして子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 学習課題の工夫を通して各単元で身に付ける資質・能力をより子ども達に意識させ、上記課題の見られた内容を改善する授業としていきます。

##### 【ご家庭では】

- 語彙が増えることは、ものを考えるときの手助けになります。また、自分の気持ちをより正確に伝えるときの手段になります。お子様の語彙を増やすために読書の習慣をつけさせましょう。一緒に読書をすることも効果的です。
- お子様と会話を楽しみましょう。新聞記事やテレビニュースから話題をあげ、自分の考えを話したりお子様の考えを聞いたりしましょう。共感したり根拠を尋ねたりしてお互いの考えを交流しましょう。
- 中高学年では、生活の中で分からない言葉に出会った時に、辞書を引く習慣をつけさせましょう。語彙力が高まり自分の思いを表現する力を伸ばすことができます。

## 2 算数



### (1) 結果

全領域で全国平均を上回る結果でした。無回答率も0%で学習意欲の高さが見られました。「測定」の正答率は、91.7%、「図形」の正答率は、83%で全国を大きく上回りました。「数と計算」に課題が見られました。

### (2) 成果と課題

「測定」では、「二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く問題」で正答率は、100%でした。「図形」では、「直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ問題」と「二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く問題」で正答率は、100%でした。「数と計算」では、全国を上回っているものの全国との差は、5.7ポイントで他の領域と比べると、上回っているポイントが一番小さい結果でした。「余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く問題」と「30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く問題」で正答率は、50%で課題が見られました。除法の式と商の意味を理解することは苦手としているなど、技能は身につけていても式理解は進んでいないことが分かりました。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 日常生活場面の文章問題では、立式・計算して得られた結果をそのままの答えとするのではなく、日常生活の問題場面に照らし合わせて妥当かどうか判断させる指導をしていきます。
- 一人ひとりの学習状況を確実に把握し、個に応じた基礎基本習得のための補充学習と活用力向上のための発展的な学習を取り入れていきます。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、思考力の向上に努めます。

#### 【ご家庭では】

- お子さんが今何を学習しているのか、理解できているのか、解くのにどれくらい時間がかかっているのか、ドリルやプリント等の宿題・テストに目を通しましょう。そしてお子さんにたくさん励ましや称賛の言葉をかけましょう。
- 算数で学習したことを生活に生かすようにさせましょう。「買い物の場面で代金・おつり・割合(%引き)」「おかし数えでかけ算」「料理で重さ・かさ」「おり紙で分数」「家の中で図形探し」「ドライブで速さ・時間・道のり」等、身の回りには、算数が使えるものがたくさんあります。生活の中で算数を使うことで算数が好きになると考えられます。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査(回答方法 4 段階から選択) 「当てはまる」と回答した割合

#### (1) 結果 《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	100%	85.8%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	75.0%	38.3%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	100%	55.0%
自分にはよいところがあると思いますか。	75.0%	36.2%
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。	25.0%	24.4%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	100%	75.4%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100%	84.1%

「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムは、概ねできています。これは家庭の協力を得ている成果です。今後も家庭と学校が協力して習慣化していきましょう。

挑戦心については、「当てはまる」と回答した割合が低いです。学校でも家庭でも多くのことに挑戦させて、ものごとをやり遂げた時の達成感を味わわせていきたいと思います。

規範意識の項目については、「当てはまる」の回答が100%でよい結果が出ています。

#### 《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %	
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	「よくしている」	0%	31.2%
	「ときどきしている」	75%	42.8%
	「あまりしていない」	25%	19.8%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。	「3時間以上」	0%	11.6%
	「2時間以上、3時間より少ない」	0%	15.3%
	「1時間以上、2時間より少ない」	50.0%	35.6%
	「30分以上、1時間より少ない」	50.0%	24.5%
新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。	25.0%	29.8%	

すべての子どもが家庭学習を30分以上することができています。しかし、2時間以上している子どもはいません。本校では、家庭学習の目標時間を「10分×学年+30分」にしています。6年生では、1時間30分が目標になります。「30分以上、1時間より少ない」の回答が50%であったことや「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」で「よくしている」の回答が0%であったことは課題です。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による児童の心の問題も大切な課題であるととらえています。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

- 学校教育目標の一つの柱である「進んで学習」を常時子どもたちに意識させるようにしています。
- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学習についても取り組み、お手本になる自学ノートを「花丸ノートコーナー」に掲示しています。
- 「進んで学習する」という面では、個人差が見られるので、個別に頑張りを褒めたり自主的に学習できるように励ましたりしていきます。
- 家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を児童に伝えて習慣化するように指導をしていきます。

##### 【ご家庭では】

- お子さんと話し合って、学習時間を確保してください。
- 子どもが勉強している時は、テレビを消す等、落ち着いて学習できる環境を整えてください。
- 規則正しい生活と家庭学習が定着することは、極めて大切なことです。お子さんが自分からできたとき、少しでも向上したときを逃さず、褒めることで意識が更に高まります。